



西田 操子 草津「創」



草津市の福祉施策について

議員 わがまち草津は、「本当に福祉に力を入れているのか。」力を入れているとすれば、どうしてそう言えるのか、市民満足度など具体的な根拠に基づいて、市の見解を伺う。

市 類似団体と比較して、民生費、教育費の支出割合は高い水準であり、福祉に力を入れているといえる。市民満足度においては、健康づくりや母子保健で満足等の構成比率は高い。高齢期の生活支援は、やや不満等の比率はやや高くなっているが、介護・年金等将来への不安がうかがえ、福祉分野全般の不満より、特定分野の不安不満が満足度に影響していると考えます。

議員 これからの草津市の福祉施策に取り組む、市長の基本姿勢と考え方について伺う。

市 「子育て支援の充実」や「高齢者福祉の充実」を重点施策に位置付け、各種施策の充実、展開を図る。「やっぱり草津」と誇りをもって住み続けていただける「まち」となるよう、誠心誠意、全力で取り組んでまいります。

- その他の質問**
- ・ 介護・保育サービスの施設分析と水準の検証等について
 - ・ 比較分析手法と結果等の公表について

大脇 正美 市民派クラブ



自然災害の脅威に対する取り組みについて

議員 「避難準備情報」・「避難勧告」・「避難指示」の発令基準について伺う。

市 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン（案）」に示されている基準を基本に、より詳細で具体的な判断基準を定めることを進めており、新たな基準を本年11月の草津市防災会議に諮り、同意が得られた後、土砂災害警戒区域に居住する方や関係町内会長等へ訪問啓発を行う。

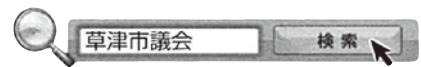
市営墓地のあり方について

議員 「市営墓地のあり方」についての審議会や検討する組織をつくる必要があるが見解を伺う。

市 近年は、墓地に対するニーズも多様化しており、「納骨堂」や「合葬墓」といった形態を希望する方々も増加しており、市営墓地のあり方の検討にあたっては、民間墓地の状況や市民の方々の墓地の需要等を踏まえつつ、審議会等の設置についても検討する。

- その他の質問**
- ・ 土砂災害防止の取り組みと監視や予防方法の体制について
 - ・ 道路の水没する箇所対策について

質問と答弁の詳細については市議会ホームページか、市役所情報公開室（庁舎2階）や市立図書館に備え置く会議録（11月下旬発行予定）をご覧ください。



委員会報告

常任委員会では、所管する部門における市政の課題について調査を行い、分析や理解を深め、今後の方向性について議論してきました。また、特別委員会では、特に必要な調査事項について、重点的に議論してきました。

これまで調査・研究してきました事項についてまとめましたので、報告いたします。

文教厚生常任委員会

調査事項 環境学習について

本市の環境学習をさらに充実させていくためには、関連する情報の共有を図ることや、環境学習プログラムを支援する仕組みを整え、それぞれの活動主体の取り組みを結びつけていくなど、コーディネート機能の充実がより強く求められるものと考えます。また、環境学習をより効率的、効果的に機能させるためには、環境課と教育委員会、学校と学校、学校と企業など、全庁・全市的に連携を深めていく取り組みが必要であると考えます。

調査事項 社会体育施設の配置について

社会体育施設の減少などの課題に対しては、今後の大型事業の展開に伴う財政負担等を鑑み、現段階では既存の社会体育施設を最大限有効に活用していくべきであると考えます。

また、市内には市の社会体育施設の他に、学校体育施設、公園、県営施設、各町内会の管理施設、企業などの民間施設等の資源が多数存在し、社会体育施設と同等の機能をもつ施設も存在することから、これらの施設を有効に活用していくべきであると考えます。



北九州市環境ミュージアムへの視察



総務常任委員会

調査事項 第2次草津市行政システム改革推進計画について

第2次草津市行政システム改革推進計画の進捗にあわせ、その事業の効果の検証と、改革の基本的な方向性の重要な取り組みである「まちづくり協議会による主体的なまちづくりの推進」と市役所における「組織力・職員力の向上」について、議論・検証を行いました。

今後予定されている市民センターの指定管理者制度の導入に向けて、13学区のまちづくり協議会が円滑に運営できるよう、それぞれの地域の実情や課題に応じた行政の支援体制の構築をするとともに、地域における人材の発掘と育成、協働のまちづくりの推進に対する市職員の意識高揚、それに関わる市職員の人材育成の取り組みをさらに推進される必要があると考えます。

産業建設常任委員会

調査事項 草津ブランドの確立と地産地消について

生産者や販売者など多様な主体との協力・連携が不可欠であり、今後は（仮称）草津ブランド推進協議会での活発な活動や事業展開を期待するものです。

調査事項 草津市自転車の安全で安心な利用の促進に関する条例について

本市の自転車利用の状況を分析したうえで、警察や教育委員会等と連携した効果的な指導や啓発の実施、成果の検証を行うべきものと考えます。

調査事項 まめバスのあり方について

単純に収支率のみで運行の是非を判断するのではなく、一層の実態調査や現状分析を踏まえた慎重な判断を行うべきものと考えます。



市内農家への視察

都市再生特別委員会

調査事項 草津川跡地整備事業および中心市街地活性化事業について

草津川跡地整備事業については、より多くの人々が利用し、次世代に継承できるものとしていくため、市民・行政・議会等が連携・協力して進めていくことを確認し、引き続き、有効な利活用の提言に向けた協議・検討を行います。

中心市街地活性化事業については、今後も（仮称）野村スポーツゾーン整備や（仮称）市民総合交流センター整備などの大型事業をはじめとする各種の施策が展開されることから、的確な状況の把握や分析を踏まえた建設的かつ実効性のある提案を行っていくため、十分な議論や検討を積み重ね、今後も積極的な取り組みに努めます。

議会改革特別委員会

調査事項 議会基本条例（案）の作成

「草津市自治体基本条例」に基づく議会基本条例（案）の体系や、草津市議会として目指すべき議会の在り方や改革すべき内容など、2年間にわたり委員会で整理した項目をもとに、委員間で議論を重ね、各条の規定や逐条解説（案）を作成しました。

さらに、5月から実施されたパブリックコメントにあわせ、議会がめざす「開かれた議会」「市民参加ができる議会」の第一歩として議場を使つての市民説明会を実施するなどにより、条例（案）について市民の皆様へ広く周知するとともに、意見を聴取し、条例（案）にどのように反映させるかを検討しました。

今後は、議論をさらに深め、11月定例会での提案に向けた取り組みを進めていきます。



議会基本条例(案)の市民説明会